

栃事研会報



第79号

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

編集発行人 岡崎 信二

<主な内容>

会長あいさつ	… 1	研究大会	… 2, 3
栃事研主催事業	… 4	とちぎ教育賞表彰	… 5
新加入会員紹介	… 6		

栃事研HP <http://tochijiken.org/>

学校事務の“質”を高めよう！！

栃事研会長 岡崎 信二

新年を迎え早一ヶ月がたちました。会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年11月29日、宇都宮市文化会館において開催しました栃木県公立小中学校事務研究大会には多くの会員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、運営準備及び分科会に当たられた各支部の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

大会では、質の高い教育の実現に向けた学校事務のあり方、そのための事務職員の人材育成、研修のあり方などをテーマとし議論を深めました。教育の質、学校事務の質を高めるには安定性や確実性を基盤としつつ、視点や事務観を変えて子どもの学びや授業、教育活動に軸足を置いた学校事務の展開が必要です。その発想の転換、栃事研で取り組んでいる「学校事務の組織化」「経営参画」「能力開発」の課題解決への取り組みが正にとちぎにおけるイノベーションー変革と考えます。栃事研ではその一方策として、○自己研鑽（自学）を支援する各組織の役割と機能 ○栃事研の研修活動の見直しと各関係機関への働きかけ ○採用からのキャリア形成システム ○中堅からベテラン層のリーダー養成などを念頭に研修の体系化に取り組み、秋には中堅研修も実施しました。意識から認識へ、行動へ、会員の皆様の一層の参画をお願いいたしますとともにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年度栃木県公立小中学校事務研究大会開催

11月29日（木）宇都宮市文化会館を会場に「創造しよう！子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を」を大会テーマとし、平成24年度栃木県公立小中学校事務研究大会が開催されました。今年度は「イノベーション！共に高めよう、とちぎの学校事務を！！」をサブテーマとし、学校事務の「質」の明確化と具体化を図り、その実現に向けた事務職員の資質能力向上の方策やあり方についてを中心とした研修が行われました。

全体研究会Ⅰでは、文部科学省初等中等教育局参事官付運営支援推進係長の風岡 治氏より「質の高い教育を担う人材育成について」と題して基調講演をいただきました。

全体研究会Ⅱでは「未来を創る、事務職員の学びスタイル」というテーマでシンポジウムが行われました。各シンポジストの方々に、それぞれのお立場から事務職員の資質能力向上の具体的手立てについてお話をいただきました。

支部発表では、芳賀郡市公立小中学校事務職員研究協議会が現在取り組んでいる研修の中で、特に早急な対応に迫られている「人材育成支援」について「高めよう自分！深めよう絆！」ー自立そして連携へーを研修テーマとし、発表いただきました。また、会場からは各地区の状況についてのお話もいただきました。

全体研究会 I

では、風岡 治氏による「質の高い教育を担う人材育成について」と題し基調講演をいただきました。

文部科学省では、教育の質を保証していくため「教員養成の改革」「教員免許制度の改革」など教員の人材育成の取り組みなどの具体的内容や今後の動向について詳しいお話をいただきました。

事務職員の人材育成に関しては、国都道府県において取組状況は非常に少なく、学校や共同実施、事務研の役割が重要であると共にぜひ現場からの声を上げてくれるよう期待していますとのお話がありました。



全体研究会 II

では「未来を創る、事務職員の学びスタイル」をテーマにシンポジウムが行われました。

シンポジストに風岡 治氏、横浜市立市ヶ尾小学校校長 落合 孝氏、岡崎信二栃事研会長を迎え、コーディネーターの濱岡 功栃事研研究部長の進行のもと質の高い学校事務を担う事務職員の学びについて率直な意見交換が行われました。

シンポジストの3名の方々は、全事研の研究部長として全国の事務職員をリードなさってきました。その視点から、教育の質の向上には何を課題としているか、求められているものの変化に対応していくにはどのようにすべきか、そして事務職員が期待されている役割に応えるためには日々の自己研鑽が重要であるとのご意見をいただきました。また、会場にいらした今年度新規採用となった事務職員の方と、新任事務長となられた方から、身につけるべき能力や学校経営参加についての質問、疑問などを伺う場面もあり、参会者と一体化したシンポジウムとなりました。

企画・提案型の業務への移行やコミュニティ・スクールなど新たな業務への参画などに対応していくため、一人一人の能力開発につながる研修の重要性と「自学」の大切さ、その自学をしっかりと支える組織のあり方等を理解することができました。



研究大会の参加者人数は

407名でした。(県外3名)

河内	上都賀	芳賀	南那須
55	69	45	9
那須	塩谷	下都賀	安足
56	29	80	61

支部発表では「高めよう自分！深めよう絆！」－自立そして連携へ－を研修テーマに、

芳賀支部が提案を行いました。芳賀郡市公立小中学校事務職員研究協議会（芳事研）の概要と「人材育成支援」「実務能力向上」「学校支援」を研究の柱とし、それを基に実施している芳事研の実務研修や各市町の特性を活かした取り組みについての発表をいただきました。

芳事研では、急速な世代交代の時期を迎え、経験の浅い事務職員を支えるための必要な支援を明確にする目的で、会員に対し「若年層・臨採に対する人材育成支援・研修支援を行う」ためのアンケートを実施しました。また、新採へもアンケートを実施し、それらの結果から支援を要する側と行う側の双方を合致させることで効率的な研修を行うことができます。芳事研が教育事務所に働きかけたことにより「新規採用・臨時採用事務職員配置校に対する事務の支援について」の通知が市内全小中学校へ配布されるという成果を得ることができました。その他にも、人事服務事務必携を見直し、様式集と記載例が収録されたデータ CD の作成、各種研修の伝達講習、研修会に合わせた教育事務所による説明や伝達、教育事務所への質疑要望事項のデータ化に取り組んでいるとのことでした。

現在、どこの地区でも急速な世代交代という問題に直面しています。その中で、他の支部の状況やどのような取り組みが行われているのかについても、会場からお話いただきました。芳事研のように地区全体では取り組めていないものの、各市町で集まり情報交換会を行っている他、データの配信や新採・他地区から異動してきた人への冊子の配布、各種マニュアルの作成、採用後3年までの初任者に対する研修やネットバンキングの導入など様々な取り組みについてお話いただきました。

支部発表を終えて

芳賀郡市公立小中学校事務職員研究協議会長 櫻井嘉昌

今年度の研究大会午後の部最後に「高めよう自分！深めよう絆！」を研究テーマに、芳賀郡市公立小中学校事務職員研究協議会（以下、芳事研）が発表を行いました。今まで芳事研では、年間4回の全体研修を実施し、研修内容は実務研修が中心のものでした。しかし、研修について停滞感があることなどから、2年前に研修部が中心となって研修内容の見直しを行いました。その結果、実務研修の他に10年先の急速な世代交代を見据えた研修を実施しなければならないことが分かりました。また各市町においても研修内容の洗い出しを行い、人材育成支援が急務の研修であるとして取り込みを始めた事が、今回の発表内容の中心的な内容となりました。発表をすることが決まり、芳事研研修部員の方々には全員継続で研修部員として2年間残っていただきました。毎月の給与審査終了後には芳事研研修部会を開き発表に向けての協議を重ね、今年の9月からは発表原稿の訂正などで月2回は集まっていただきました。その苦勞の甲斐もあり、発表当日にはりハースル以上の出来映えであったと感じています。また、多くの会員の方が静かに聞いてくださる姿をステージ脇で拝見させていただき、若い会員の方の姿が多くみられたことに驚きました。ここにも世代交代を感じたのは私ばかりではありませんでした。

今回の支部発表を経験させていただいたことで、今まで以上に会員相互の「連携・絆」が深まり、今後の活動に深まりができることを期待し、関わっていただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

栃事研主催の研修等は、主に広報部員が取材し、活動の記録としてホームページに載せています。
ここでは簡単にご報告をさせていただきますので、詳しくはHPをご覧ください。写真もたくさん載っています。



新加入会員等研修会

8月10日（金）栃木県学校生活協同組合会館にて、平成24年度事務職員として採用になった新規採用事務職員18名、臨時採用事務職員13名を対象に研修会を開催しました。講師に小山市立絹中学校の渡邊哲夫主任をお迎えし「今日までそして明日から」をテーマとした自己マネジメント研修が行われました。また、グループに分かれて意見交換や情報交換が行われました。一人一人から日頃の悩みや疑問などの話を伺い、同じ悩みを抱えている事務職員同士が意見を交換し、先輩事務職員からのアドバイスを受けることで、課題解決の糸口をつかんでいました。



交流事業球技大会

8月20日（月）河内中学校体育館にて、栃事研交流事業球技大会を開催しました。今年の事業内容はソフトバレーボール大会となり、各支部から計61名という多くの会員にお集まりいただきました。支部対抗ではなく、6名程度の混成チームで20分程度の試合を行いました。珍プレーが続出する中、華麗なプレーも見られ和気あいあいとした中で親睦を深めることができました。



栃事研セミナー

8月21日（火）宇都宮市のパーティにて、栃事研セミナーを開催しました。今年度は「事務部経営計画と評価～実践から学ぼう！～」と題し、学校課題解決に向けてのマネジメント力を身につけることを目的としました。講師に足利市立山辺中学校の岡崎信二事務長を、アドバイザーに7名の方をお迎えし、講義・演習を行いました。講義では、事務部経営計画と評価についての話を聴き、事務部の取り組みや個人の取り組みを目に見える形にすることで、学校の課題解決へのアプローチがしやすくなるということを学びました。午後は、アドバイザーの方に相談しつつ試行錯誤しながら個人毎に事務部経営計画と評価の作成を行いました。今回の研修を通して、事務部経営計画と評価について理解を深め、学校課題解決に向けてのマネジメントの手法を身につけることができました。



中堅事務職員研修会

栃事研初のステージ別研修を中堅事務職員（経験年数10～19年目）を対象に、10月26日（金）学校生協会館にて開催しました。講師に千葉県成田市立西中学校事務長の三浦由起子氏をお迎えし「『個』から『組織』へ」をキーワードに、学校組織マネジメント研修を行いました。



学校事務共同実施校連絡協議会

2月12日（火）学校生協会館にて、学校事務共同実施校連絡協議会を開催しました。今年度は、法的整備がなされている共同実施実践地区（鹿沼市、佐野市、那須塩原市）より、法的整備に至る経緯や事務研としての関わりを発表していただきました。

広報部からお知らせ

～栃事研HPについて～



栃事研では、会員への情報提供による支援及び会員間の交流を目的としてホームページを公開していますので、ぜひご覧ください。

また、日々の業務に役立つ各種データや事務処理プログラムなどの「お役立ちデータ」を募集しています。皆様のご協力をお願いします。ご提供いただける場合は hp@tochijiken.org まで送信ください。



おめでとうございます



今年度、3名の事務職員の方が「とちぎ教育賞」の表彰を受けられました。
受賞に際しての感想などをお伺いしました。

小山市立小山城北小学校 事務長 速水 孝昭

10年ほど前には、栃事研 HP の立ち上げに関わる中で栃事研事務局の皆様にも大変お世話になりました。今の自分があるのは、育てていただいた栃事研の皆様のおかげと感謝しております。

今までのお一人お一人の出会いに感謝し、今後は、この賞に恥じぬように精進を積み、今までにお世話になった皆様へ恩返しをしていければと思います。

誠にありがとうございました。

足利市立第二中学校 事務長 栗原 久人

「とちぎ教育賞」を受賞して、3ヶ月たちますがその間に多くの皆さんから「おめでとうございます」と言われましたが、なぜ私が受賞を受けたのか、何の功績もなく自分を振り返っても分かりません。恥ずかしい心境です。受賞に際しましては、足事研の皆さんのおかげと感謝申し上げます。これを機に「学校・子供たち」のために誠意をもって職務に当たりたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願いします。

那須塩原市立黒磯小学校 事務長 伊藤 信子

10月11日さわやかな秋空のもと、栃木県公館において「とちぎ教育賞」をいただけてまいりました。

微力な私がこのような栄えある賞をいただけてよいものかと改めて感じております。

これまでご指導・ご支援くださった皆様に感謝申しあげ、受賞のあいさつとさせていただきます。



新加入会員紹介

自分のイメージの動物、一年間を振り返っての感想をお聞きました♪



学校で働く中で、分からないことに戸惑うこともありましたが、様々なことを学ぶことができ、充実した一年でした。

宇都宮市立泉が丘小 鈴木 啓美



あっという間の一年でした。周りの方々への感謝を忘れずに、まずは仕事を確実に覚えていきたいと思います。

日光市立足尾中 弓座 成美

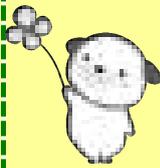


採用一年目で不安や失敗もありましたが、多くの人々に助けをいただき実りある一年を過ごすことができました。

宇都宮市立平石中央小 渡邊 健太郎



辛いこともありました。しかし、多くの方に支えていただき、日々笑顔でいられたような気がします。
真岡市立大内西小 増渕 美紀

<p>この一年間でたくさんの方のことを学びました。これからも頑張りますので、よろしくをお願いします。</p> <p>宇都宮市立姿川第一小 後藤 里奈</p> 	<p>先生方や事務職員の方のみなさんの支えがあったからこそここまでやってこられました。感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>真岡市立中村南小 細谷 光</p> 
<p>本当に周りに支えられて何とか一年を乗り切れました。来年度は学んだことを一つでも生かしていきたいです。</p> <p>宇都宮市立雀宮東小 大金 崇俊</p> 	<p>今年一年多くの事務職員の方にお世話になりました。学んだことを今後に生かして頑張りたいと思います。</p> <p>小山市立網戸小 名瀬 香織</p> 
<p>周りの方々に支えられ、成長することができた一年。</p> <p>宇都宮市立陽東中 小太刀 大輝</p> 	<p>分からないことばかりの毎日。周りの方々の支えに感謝しています。これからも子どもたちのために頑張ります。</p> <p>小山市立豊田北小 町田 真紀</p> 
<p>新採の私にとって今年はずいぶん怒涛の一年でした。来年は今年の経験を糧に飛躍できるように頑張ります。</p> <p>上三川町立本郷小 細田 裕亮</p> 	<p>これから続くであろう学校事務人生に希望を見出すことができた一年でした。来年もがんばります。</p> <p>矢板市立矢板中 直井 野乃花</p> 
<p>先輩方に支えていただき、無事に一年を過ごすことができました。感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいです。</p> <p>上三川町立明治南小 曾雌 祐里</p> 	<p>新しい世界で多くの経験を積むことができ、大変充実した日々となりました。</p> <p>那須塩原市立塩原小 大島 雅人</p> 
<p>先生方や保護者の方、子どもたち、周りの事務の先生や同期に助けられ、楽しく仕事をすることができました。</p> <p>鹿沼市立西大芦小 渡邊 愛弓</p> 	<p>小さな仕事の積み重ねが、学校を変えると信じています。今後も学校を良くしていこうという志で頑張ります。</p> <p>那須町立田中小 高崎 佳奈</p> 
<p>今年一年、沢山の方に支えていただき本当に感謝しています。来年も頑張りますので、よろしくをお願いします。</p> <p>鹿沼市立上粕尾小 撫木 奈緒美</p> 	<p>この一年間、諸先輩方に支えられ、多くのことを学ぶことができました。これからも日々成長していきたいです。</p> <p>佐野市立船津川小 桑沢 望美</p> 
<p>沢山の人に支えてもらった一年間でした。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。</p> <p>日光市立安良沢小 矢野 誠</p> 	<p>周りの方々に支えていただいた一年でした。今後は、何事にも自信をもって取り組めるようにしていきたいです。</p> <p>足利市立久野小 青山 大樹</p> 

あとがき

今年度も無事2回の発行を終えることができました。発行にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

寒さの中にも春の足音が一步步近づいています。年度末始の忙しさから解放され、のんびりと春の良い季節を楽しみたいと、毎年思っているものの花粉症に悩まされ、仕事に追いかけられ、なかなか思い通りにいかないのが現状です。何はともあれこれから忙しい日々が続きますが、皆様お体を大切になさってください。